

質 疑 回 答 書

令和4年9月13日

工事名称：帯広畜産大学畜産フィールド科学センター新営機械設備工事（再公告）

番号	質 疑	回 答
1	スポットヒーターの設置高さは3.0m~5.5mとありますが、温度分布を見る限り高過ぎるのでは無いかと考察します。設計機器で積算を行いますか。	設置高さ（可動域）を1.5m~5.5mとします。
2	遠赤外線暖房機の設置高さが、3.5mとなっておりますが、メーカー温度分布では、18℃以下が予想されますが、問題ありませんか。	問題ありません。
3	トンネル換気扇FT-1の45°の角度調整はどの様に行うのでしょうか。	吊り金具（ステンレスチェーン）の長さによる調整を想定しております。 選定機器の取付仕様を確認ください。
4	FE-2の固定架台は必要ありませんか。必要であれば、仕様や取付方法等をご指示ください。	鉄骨梁から吊り下げてください。
5	換気扇用のファンインバーターですが、納期が未定となっております。工事期間内には納品できません。	原則、工事期間内の納品・取付とします。 メーカーの納期回答は手配後になると認識しております、納期が最短となるよう努力ください。
6	FE-2ラインファンの納期が3か月以上となっております。工事工程に支障ありませんか。	1月以降の設置を想定しています。
7	遠赤外線暖房機の納期が12月中旬となる見込みですが、工事工程に支障ありませんか。	同上

工事名称：帯広畜産大学畜産フィールド科学センター新営機械設備工事（再公告）

番号	質 疑	回 答
8	<p>電気シャッター 1,000×1,000が4カ所ありますが仕様をご指示ください。また、フードや網等は不要ですか。</p>	<p>鋼板製です。 フードおよび網は見込んでおりません。</p>
9	<p>鉄骨の開口補強については、建築工事（別途）と考えて宜しいですか。 電気シャッター 1,000×1,000 4カ所 FT-2 トンネル換気扇 1,000×1,000程度 4カ所 FS-1 斜流ダクトファン 430Φ 程度 1箇所 FE-1 斜流ダクトファン 430Φ 程度 1箇所 FS-2 有圧換気扇 600×600 程度 1箇所 FS-3 有圧換気扇 600×600 程度 1箇所 FE-3 有圧換気扇 600×600 程度 1箇所 FS-4 シロッコファン 250Φ 程度 1箇所 FE-4 シロッコファン 180Φ 程度 1箇所 FE-2 ラインファン 630×630 程度 1箇所 ※SDF-1 については、記載していません。 鉄骨を避けて、ダクトを施工を行うことは難しいかと思っておりますので、上記の開口補強をお願いします。</p>	<p>電気シャッターおよびFT-2の開口補強は建築工事で見込んでおります。 それ以外の開口補強は本工事で見込んでください。</p>
10	<p>不凍給水器の基礎は建築（別途）とありますが、基礎工事と同時期に施工されるのでしょうか。機械設備の工事のタイミングを教えてください。</p>	<p>基礎工事終了後の設置となります。</p>
11	<p>ルーフドレン配管の縦配管の固定は、鉄骨柱に固定と考察されますが、仕様や取付方法等をご指示ください。</p>	<p>柱脚コンクリートにブラケットをアンカー固定し、緊結してください。躯体貫通部の固定方法については以下を参照してください。 ・建築工事標準詳細図（国交省）</p>
12	<p>ガス設備についての確認ですが、ガス警報器は電気工事に含まれているのでしょうか。また、メーターへの通信配線等も電気設備と考えて宜しいですか。</p>	<p>ガス警報器の設置は見込んでおりません。 メーターから多回路エネルギーモニタまでの通信配線は電気設備工事で見込んでおります。</p>
13	<p>電気ヒートポンプ空調機の室外機の固定は壁取付と読み取れますが、壁付施工ですと、室外機の振動が鉄骨を伝搬し騒音となる可能性があります。壁の取付でよろしいですか。 同様に、ステンレス製のドレンパンを壁面に取付となっておりますが、鉄骨に荷重を持たせるように考えて宜しいでしょうか。 ※室外機及びドレンパンの壁取付の際には、補強が必要になると思っておりますが、別途工事と考え積算しておりません。</p>	<p>壁取付および鉄骨に荷重負荷としてでよろしいです。</p>

工事名称：帯広畜産大学畜産フィールド科学センター新営機械設備工事（再公告）

番号	質 疑	回 答
14	フロアポンプは床面固定で良いですか。	よろしいです。
15	廃乳槽への流入管は敷地内の排水管と同様の考え方で施工して宜しいですか。埋設深度や勾配の指示をお願いします。	排水管と同様の施工でよろしいです。埋設深度（土被り）は800mm以上とします。最小勾配は1/200としてください。（150Φ）
16	自動制御図に既存自動制御盤改造までの配線が示されていますが、管路の掘削や共同溝への区分けなど明確に判断出来ません。ご指示願います。	図（M-22）中、FEP22が屋外埋設管、E25が共同溝敷設管です。 *建物（X1通り芯）から34mで共同溝と想定
17	特記仕様書に、電気保安技術者を選任とありますが資格者を委託契約し選任するのでしょうか。	監督職員の承諾を得て関連工事における電気保安技術者を兼任可能となっております。（機械設備工事監理指針を参照）